

## ユーザーフィードバック、ISOE の発展に向けて

手塚広子、本庄浩司

原子力安全研究協会、ATC

*Email: tezuka@nsra.or.jp, honjo@nsra.or.jp*

1992 年の ISOE 発足以来、ISOE データベースは、30 か国の 400 基以上の原子炉から、膨大な量の線量データを集めている。このデータベースは、例えば作業者の線量を低減するために他の原子炉との比較を分析したり、高線量の原因を分析したりするという観点から利用されれば、放射線防護にとって有益なものである。しかしながら日本では、ISOE 参加者がデータベースを利用するのは非常に稀なことである。

ATC 事務局は、データベースの利用率の低さに気付いたため、ISOE データベースの利用者と ISOE データベースの管理者（ISOE 事務局）双方に働きかけることにした。

今回の発表では、ISOE データベースを用いた線量分析結果を示し、また ISOE データベースの発展に向けたユーザーフィードバックを紹介する。